



ファミリー・ワークショップ

「どんどんつなげよう！ヘンテコいきもの」

展覧会：プラティスラヴァ世界絵本原画展 BIBで出会う絵本のいま

エドゥケーターの藤田百合さんをお招きし、家族で絵本原画展を楽しめるプログラムを開催しました。スペシャル鑑賞ツールを片手に展示室を探検。作品の中から見つけた様々ないきものから想像を広げ、見たこともないようないきものを描きました。皆が描いたものをつなげると、7階ロビーの壁に長〜いヘンテコいきものが出現しました。

概要 OUTLINE

日程 2019年1月20日(日)

時間 13:00~15:00

会場 7階ロビー

対象 小学生とその保護者

参加者数 12組(24人)

講師 藤田百合

スタッフ 美術館職員3人、ワーク

ショップサポーター5人

参加費 200円(／組)

参加方法 事前申込制

ワークショップの流れ FLOW

- ① ワークシートをヒントに展示室で様々ないきものを探し、気に入ったいきものを言葉や絵でメモをする。
- ② メモを参考にしながら、オリジナルのヘンテコいきものを想像して描く。参加者1人につき頭は1枚、体は2枚。
- ③ 描いた頭や体を、一緒に参加した家族や同じテーブルの参加者と並べたり位置を交換しながらつなげてみる。
- ④ 描いた体のうち1枚は美術館で展示し、残りの2枚は家族ごとに専用シートにはさんで、仕掛け絵本にして持ち帰る。

材料と道具 MATERIAL & TOOL

ワークシート(ピンゴスタイル)、創作シート、鉛筆、色鉛筆、ポスカ、色紙、はさみ、のり。



ピンゴスタイルのワークシートを手に展示室へ。色々ないきもの見つけられるかな？



気になるいきものは、絵や言葉で自分用にメモしておきます。



大人も子どもも、それぞれ自分のヘンテコいきものを描くのに夢中！

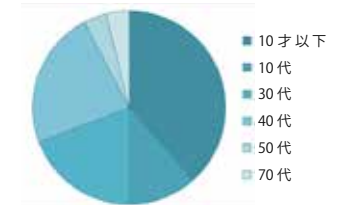


みんなのヘンテコいきものを並べてみると、さらにヘンテコになりました。

参加者の声 VOICES

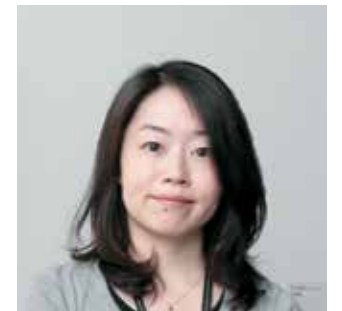
- ・親子で集中してお絵描きができてよかった。原画も注意深く見る事が出来た。(30代)
- ・見たことのない作品ばかりでおもしろかった(10才)
- ・親も子どもも、時間を忘れて作業できました。とても楽しかったです。(40代)
- ・子どもが絵本に興味が出てきている時期なので、とつても集中して取り組んでくれて、親の私も連れて来て良かったと思えた。(40代)
- ・へんてこなものを考えるのが楽しかった。(9才)
- ・ふだん注意してなかった絵の細かいところをよく見る機会となった。(50代)
- ・美術館で絵を描いたのはじめてで楽しかった。(40代)

参加者の割合(年代) AGE



今回は小学生とその保護者が対象でしたが、高学年の子は少なく、低~中学年の参加が大半でした。ヘンテコというタイトルや、保護者とセットでの申込制にしたことが影響しているかもしれません。

講師プロフィール ARTIST'S PROFILE



藤田百合

(エドゥケーター)

女子美術大学美術館非常勤学芸員、東京国立近代美術館教育普及室の研究補佐員を経て、現在に至る。各地の美術館や子ども図書館でワークショップを企画実施。共著に『絵本ワークショップ』(朝倉書店)。